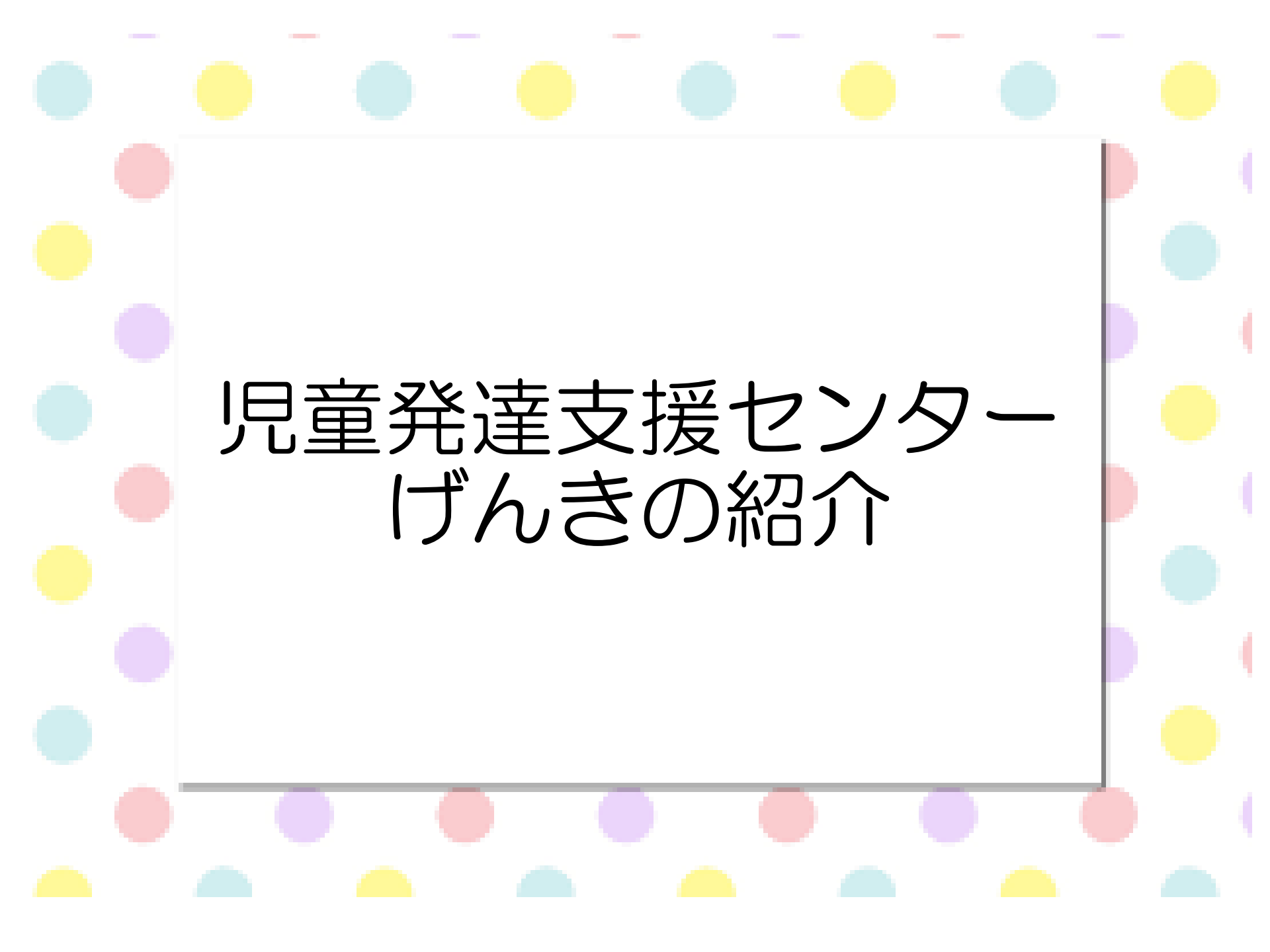




児童発達支援センター げんきの紹介

児童発達支援センターの役割



発達支援



家族支援



地域支援



児童支援発達支援センターげんきで 取り組む支援事業



児童発達支援



放課後等
デイサービス



保育所等訪問支援

児童発達支援センターげんき



児童発達支援

毎日単独通園 15名定員

- ・対象児 1歳児～5歳児
- ・9：30～14：30
- ・隔週 保護者勉強会
親子療育

児童発達支援 親子通園

- ・対象児 1歳児～5歳児
- ・年齢、特性に応じてグループ編成
- ・10グループ 各8名定員

放課後等デイサービス

- ・対象児 小学生
- ・15：15～16：45
- ・学齢、特性に応じて編成
- ・3グループ 各5名定員

保育所等訪問支援

- ・こども園・保育園
幼稚園・小学校
を訪問

利用児の詳細

令和4年5月現在

DSM-5診断基準による表示

・ 毎日単独通所

自閉スペクトラム症(ASD)
知的能力障害 (MR)
注意欠如・多動症(AD/HD)
療育手帳A 1～B 1 の児

・ 親子通所

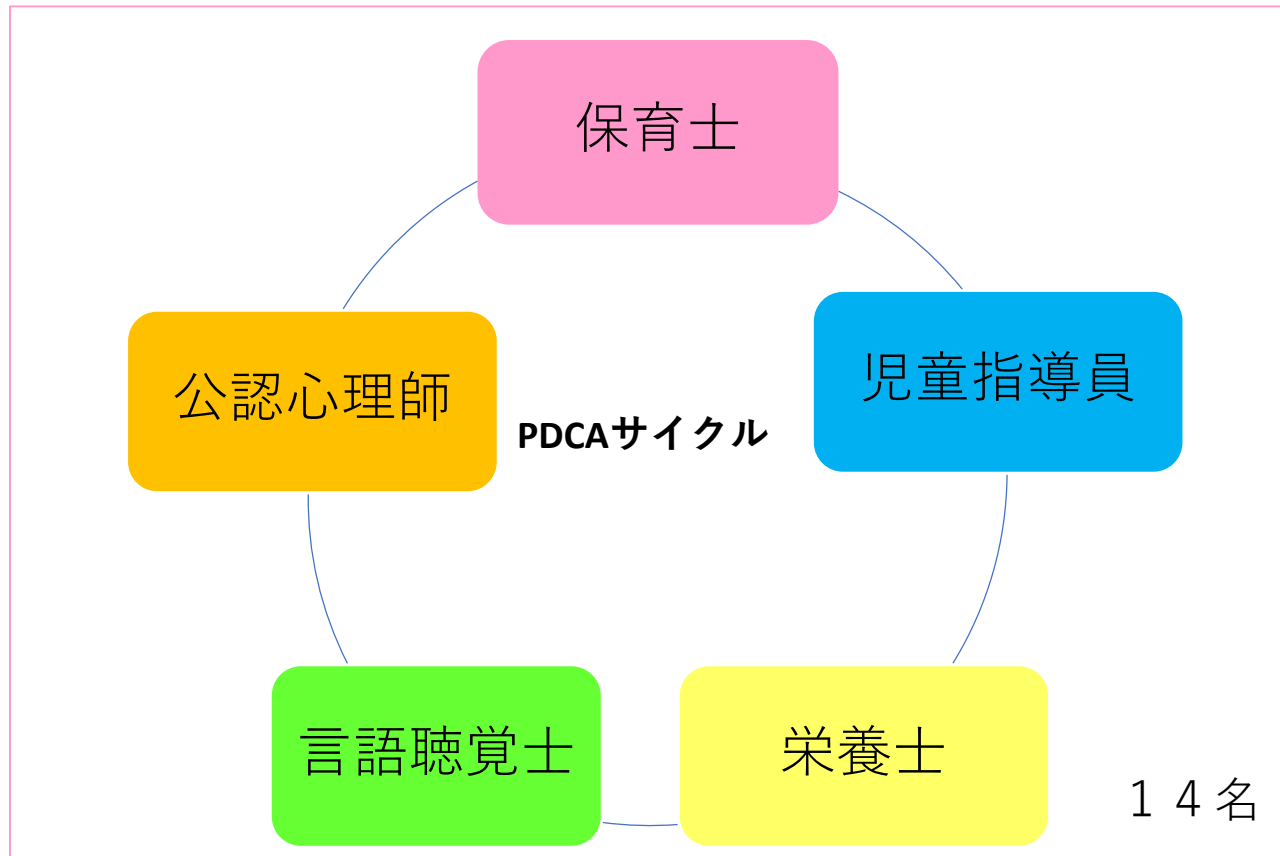
診断がついてない児
自閉スペクトラム症(ASD)
注意欠如・多動症(AD/HD)
知的能力障害 (MR) など

・ 放課後等デイサービス

自閉スペクトラム症(ASD)
知的能力障害 (MR)
注意欠如・多動症(AD/HD)
療育手帳A 1～B2の児

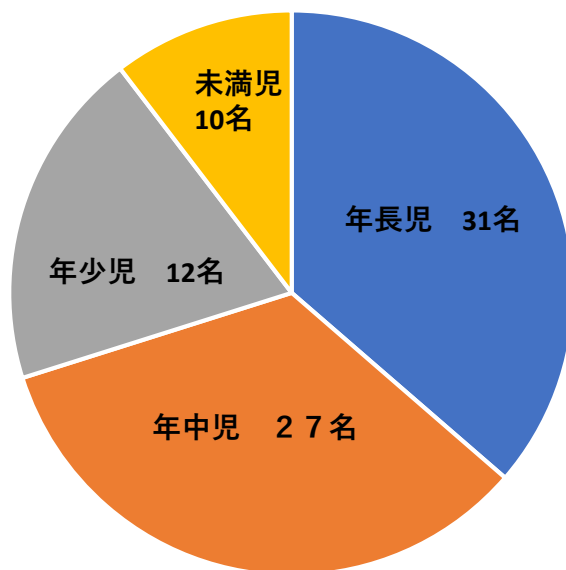
発達支援のサービスを受けるためには、
必ずしも診断は必要ありません
長崎市では医師の意見書
(発達支援を受けることでより児の
成長の伸長が期待される旨記載)
が必要です。

げんきの職員体制



げんき 利用児数（令和4年3月現在）

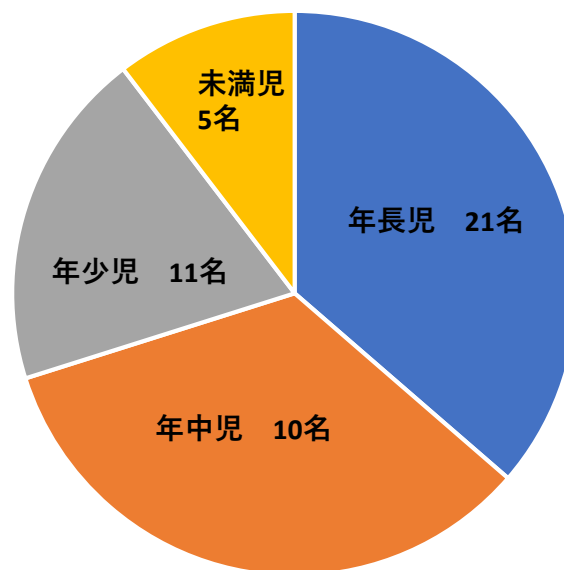
幼児



※登録者数：80名

げんき 利用児数（令和4年5月現在）

幼児



※登録者数：47名（前年度年長児が終了のため）

年度末には80～90名に増えます

紹介経路



医療機関/保健事務所
子育て支援センター
保育園、幼稚園、学校
事業所
保護者
インターネット





発達支援①

- 単独通所（毎日通所）
- 9:30～14:30（送迎バスあり）
- スケジュール

午前

登所→朝の準備→お集まり

感覚運動遊び（プレイルーム）→給食

午後

午後の活動（認知・午睡・運動遊び）→

設定療育→帰りのお仕度→お集まり→降所

行事

ミニ運動会・クリスマス会・遠足など

療育の様子 プログラム



げんき療育室



単独通園療育室
1階いちご（2歳～6歳）



集団療育室（親子療育）



プレイルーム





発達支援②

- 親子通所（週1回通所）
- 午前10:15～11:35（年少々～年中児）
- 午後14:10～15:30（年中～年長児）
- スケジュール
- 運動遊び（プレイルーム）→集団活動
- 保護者へのフィードバック

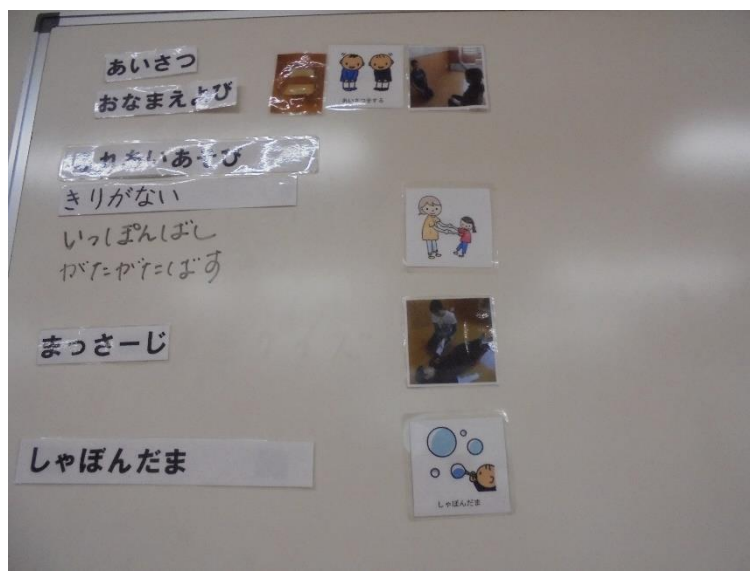
※早期療育グループ（～3歳）

9:30～10:30 11:00～12:00

親子遊び、お集まり、フィードバック

ホームワーク

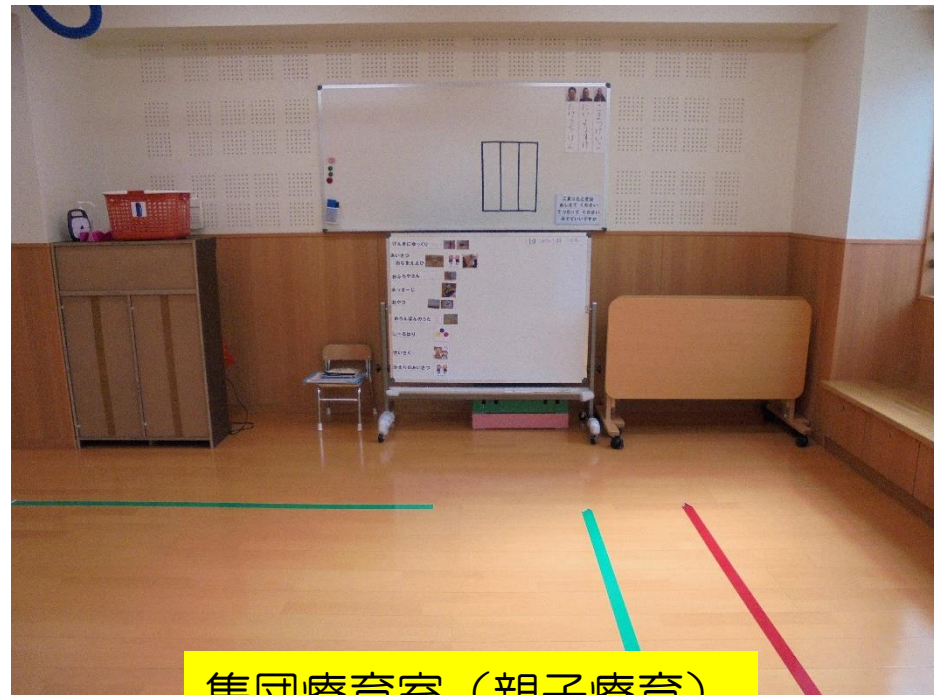
療育の様子 プログラム



げんき療育室



単独通園療育室
1階いちご（3歳以下）



集団療育室（親子療育）



親子療育のメリット

- 子育てに不安を感じ始めた養育者の方に、子育ての成功体験を積んでもらい、親としての自信を高める。
- 子どもにとっては、養育者との楽しい関わりの中で、愛着関係を育む。
- 療育の中で、お子さんとのかかわりを通して、保護者に具体的に助言することで、家庭での困り感を減らし、子育てを支える。
- 小さいお子さんの場合は、特に保護者も対応のコツをつかみやすい。
- グループでの療育を通して、他の親子を見本にしたり、共感したりすることができる。

放課後等デイサービス 療育室



発達支援③

- 単独通所（週1回通所）
- 専属運転士による送迎（職員添乗）
- 児童指導員・保育士・言語聴覚士
- 午後15:15～16:45
- 少人数 集団療育
- スケジュール
感覚運動遊び（プレイルーム）→集団活動
お買い物おやつ・インタビュー・SST・
ゲーム・製作など
- 連絡票をとおして、保護者との情報共有
- 定期的に所属学校と連携

放課後等デイサービス 利用児数（令和4年5月現在）

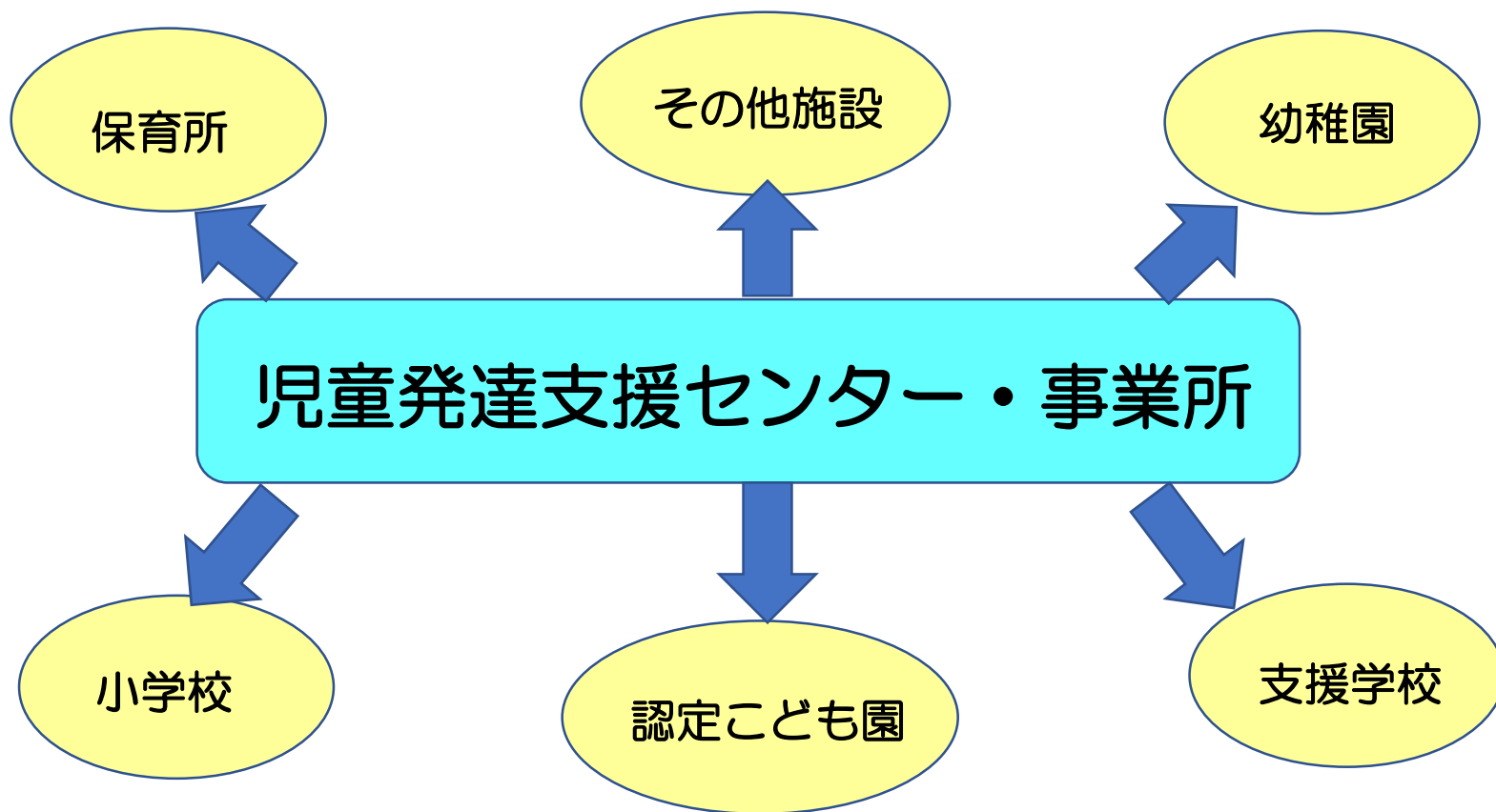
学齡児

1年生	知的	4名
	情緒	5名
2年生	情緒	2名

戸町小学校・南長崎小学校・小ヶ倉小学校
鶴南特別支援学校

※登録者数：11名

保育所等訪問支援



発達支援の必要なおこさんに対して、集団生活への適応のための専門的な支援

★おこさんに対する支援（直接支援）

★訪問先のスタッフの方に対する支援（間接支援）

保育所等訪問支援 利用児数（令和4年5月開始）



幼児 20名



学齡児 1名

※登録者数：21名





家族支援（令和3年度実施）

- 単独通所 個別面談：随時
勉強会頻度：月2回 水曜日
内容：専門職の講話（S T、公認心理師、保育士）
ペアレントプログラム ・ 懇談会
サポートブック・勉強会
ペアレントメンターによる相談会
 - 親子通所 個別面談：随時
勉強会頻度：1～2か月に1回
内容：専門職の講話（S T、公認心理師、保育士）
ペアレンジャー ・ 懇談会・勉強会
ペアレントメンターによる相談会
サポートブック（年長児）
- ◎希望者：ペアレントトレーニング



地域支援

- 保育所や幼稚園への支援
施設支援（クラス支援、個別支援）
研修会
- 外部からの見学受け入れ
民生委員 事業所 学校 保育所・幼稚園
- 職員派遣
研修会、学校支援など
- その他
保護者や園などからの相談支援

ご清聴
ありがとうございました



児童発達支援センターげんき